

アイリス Letter

保護者の皆様へ



2025年5月30日発行
第1号
広島女学院中学高等学校

<聖書のことば>

わたしたちは神のために力を合わせて働く者であり、あなたがたは神の畑、神の建物なのです。

コリントの信徒への手紙一 3章9節

2025年度が始まり、早2カ月が過ぎました。今年度は、中学生599名、高校生606名の在籍です。1205名の生徒の一人ひとりに、そして支えてくださるご家庭に主の平安が豊かにありますようにお祈りいたします。4月7日に中学入学礼拝が行われ、229名の1年生を迎えました。6クラスの編成となりましたので、中1の教室を2階、中2の教室を1階としました。広島女学院で学びたいという元気な入学生を迎え、校内は活気に満ちています。

5月17日に行われましたPTA総会に合わせ、広島女学院大学・ゲーンズ幼稚園の管理主体移管計画についての説明会を行いました。(1回目は4月15日実施)多くの保護者の皆様に参加していただき、ありがとうございました。教育・経営の両面において、中学高等学校は良好な状況であることを重ねてお伝えしたいと思います。

2026年からの中高に特化した新しい広島女学院を迎えるに当たり、4月8日の始業礼拝では、生徒のみなさんに、「原点に立ち返りこの一年間を進んでいこう」とお話ししました。学院聖句の中の「神のために力を合わせて働く」とは、「神様は一人ひとりが大好きで、とても大切に思ってくださいということを私たちが知ることです」とお伝えしました。自分と同じように大切な隣人とつながり生きていくことを最も大切にしたいと思えます。

また、広島女学院の6年間で身につけてほしい、次の3つの力も伝えました。

自分を知る 他者を知る 世界を知る力

確かな学力と幅広い教養

平和の実現に向け、しなやかに自分らしく歩む力

6月には、体育大会の他、平和を祈る週、音楽鑑賞会、高校グローバル研究・成果発表会などがあり、多くの出会いが待っています。毎日の授業や放課後の活動にも新しい発見がいっぱいです。いろいろなことが重なり大変な時もあると思いますが、自分が主体的に取り組む一歩を応援します。保護者の皆様、本校の教育活動にどうぞご理解、ご協力をお願いいたします。

(校長)



イースター特別礼拝

「イースター（復活祭）」は、クリスマスとならぶキリスト教の大切な記念日です。私たちの救いのために、自らを犠牲にして十字架上で亡くなられたイエス・キリストが「復活」されたことをお祝いします。太陰暦で定められたため毎年日付は変動しますが、今年は4月20日（日）でした。本校では4月19日（土）に粟津原淳牧師（広島女学院大学教授：同大学宗教センター長）をお迎えし、イースター特別礼拝の時間を持ちました。

中学の礼拝では、新約聖書マルコによる福音書6章6b～13節を用いて、「支えの杖と歩いていこう」と題し、奨励いただきました。イエス・キリストが弟子を派遣する際に命じられた「旅には杖一本だけ」ということばを通して、わたしたちが生きる中での「杖」とは何なのか、またなぜ「杖だけ」なのかについて、先生ご自身の趣味や経験を用いて、入学して間もない新入生にとってもわかりやすくお話しくささいました。お話を通じて、イエス・キリストの復活がもたらす「希望の兆し」を生きていく私たちの歩みの中で、自分のための「杖」ではなく隣人（他者）のために遣わされる「行い」についても深くお話しくささいました。

高校の礼拝では、新約聖書マタイによる福音書28章1～10節を用いて、「あふれる喜び」と題し、奨励いただきました。お話では特に、イエスの復活の出来事が初めに女性たちに知らされたことに焦点をあてられ、当時は虐げられていた、弱い立場にあった女性たちにも等しく価値があり、だからこそ誰よりもまず初めに復活が知らされたことを説き明かしくささいました。またそこから、どんな人にも平等に復活の出来事は与えられるのだということを伝えられました。初めに復活が知らされた女性たちのように、私たちも主イエス・キリストの復活の出来事に希望と勇気を与えられながら、新年度を歩んでいきたいと思ひます。

（宗教教育委員会）

生徒支援部より

新しい年度が始まりました。5月の懇談では「SNSに関する学校方針」を配信していますので、各ご家庭で必ずご確認下さい（中1は4月に配布済みです）。

また、5月17日（土）には大阪総合教育支援研究所の原田孝先生をお招きして、新中1の保護者の方を対象に『中高生の育ちを支える家庭の役割』と題して講演していただきました。思春期は自分を守る「外枠」がなくなる時期であり心が過敏となること、それゆえ自分をストレスから守る「外枠」が必要となること、「外枠」の例として「学力」・「運動能力」・「芸術」・「リーダーシップ」、その他「自分が得意・好きだと思ひえるもの」を見つけていくことが大切なのだと学べました。その「外枠」に、親がなってしまうと子ども達は適度なストレス中で成長する機会をも失うことにも触れられました。また、この時期の「家庭の役割」として、子どもたちのエネルギーが切れていないのかの見定めや、大人の見本としての存在であること、少しずつ親が手を離してくことの重要性も指摘されました。講演の後半は、事前に寄せられていた質問に回答する形で話をして下ささいました。反抗期は自律の過程であること、保護者はまず動じることなく傾聴し、子ども自身が自分なりの答えを生み出すのを待つことの重要性に触

られました。

さて、近年の生徒の特徴として、SNS 等の普及に伴ってなのか、生徒間のコミュニケーションの有り様が変わってきました。SNS 上の書き言葉のみのやりとりから来るすれ違いや、対面コミュニケーションを苦手とする生徒が増えています。相手に真意を確認せずに、ネガティブな想像ばかりが先行してしまうこともあります。互いに敬意をもてる関係をどう作っていくのか、ご家庭でもお話していただければと思います。

また、今年度よりスマートフォン等の持ち込みのルールが変更となっております。近年は依存傾向になる生徒も多く、生活習慣・学習習慣への影響も大きいです。ルールやマナーを順守する姿勢やけじめをつける自制心も求められています。利便性を全て「是」とするのではなく、ルールの中でけじめを付けながら使用する力を付けてほしいと思います。

国際的には、オーストラリアでは 16 歳未満の SNS 禁止、その他の多くの国でも青年期のネット依存に関し警戒を強めています。なお、既に生徒には生徒支援部からネットリテラシー講演を実施しておりますが、7 月下旬には保護者向けの講演動画を配信する予定です。その際にはまたご連絡致しますので、宜しくお願い致します。

春は新しい生活のスタートであり、生活環境の変化が大きな時期です。どうしても心身の疲れがたまりやすくなりますので、ご家庭でもお声かけ等の配慮を宜しくお願い致します。

(生徒支援部)

海外研修

2024 年度春休みに実施された海外研修について、ご紹介します。本校 Web サイト「今日の女学院」でもプログラムの詳細を参加生徒たちがレポートしていますので、合わせてご覧ください。

(1) カンボジア研修

参加生徒：高校 1 年生 10 名 中学 3 年生 2 名

日程：3 月 21 日～3 月 29 日

訪問先：プノンペン、シェムリアップ

研修内容を大幅に刷新し、2 年ぶりにカンボジア研修を実施しました。



新しいプログラムでは、プノンペンでの滞在日数を増やし、Australian International School Phnom Penn (AISPP) のご協力のもと、ホームステイを実施しました。英語を使って生活しながら、カンボジアの現地の方々の生活を体験したことは、生徒たちにとって忘れられない思い出となったようです。

また、次に訪れたシェムリアップでは、アンコール遺跡を訪問し、カンボジアの歴史や文化を学んだだけでなく、日本の NPO が運営する、地元の女性の自立を支援する活動にも参加をしました。この研修が、Global citizen、Peacebuilder として、新たな

一歩を踏み出すきっかけとなることを願っています。

(2) マウントユニオン大学研修

参加生徒：高校1年生 10名 中学3年生 4名

日程：3月23日～4月5日

訪問先：シカゴ（イリノイ州）、アライアンス（オハイオ州）

最初に、世界屈指の建築の街でもあるシカゴにて都市研修を行い、アメリカの食や街並みを体験することができました。

マウントユニオン大学では平和学などの授業を受けるだけでなく、各授業にてプレゼンテーションを行い、広島、そして広島女学院のことを伝え、平和について共に考える機会を持つことができました。また、地域の学校やフードバンクも訪問し、様々な年代の人々と英語を用いて交流できたことは生徒たちにとって貴重な経験となりました。



竜巻の影響による悪天候のため帰りのフライトがキャンセルになり、帰国が1日延びましたが、その1日も良い経験となりました。文化の違いや言語の壁に最初は戸惑いながらも、異文化の中で生徒一人ひとりが自分の経験から得た学びは計り知れません。生徒たちにとって大きな成長の場となるこのプログラムを、様々な所から支えてくださっている方々に感謝しつつ、これからもマウントユニオン大学と広島女学院の交流が続いていくことを心から願っています。

(3) 韓国研修

参加生徒：高校1年生 4名、中学2年生 8名

日程：3月24日～3月28日

訪問先：ソウル市内、近郊

建国大学日本語教育学科、建国大学付属高校、ボソン女子中学校とそれぞれ交流し、一緒に食事をしながら仲を深め、お互いの国の文化や歴史観の違いなどについて意見交換をおこないました。

また今年度の研修では新しくソニン中央教会の礼拝において韓国語の讃美歌を披露したり、ボソン女子中学校では新しくプレゼンテーション交流会をしました。外国人宣教師墓地、西大門刑務所博物館、景福宮なども訪問しました。



引率教員より：

「過去を学び、現在を知り、未来を考える」が今回の研修のテーマでした。特に、研修全般に渡ってサポートをしてくださったソニン中央教会の皆様や、現地の学校で出

会った生徒・学生・先生方が私たちを「隣人」として温かく受け入れてくださったことが参加生徒の心を大きく動かししました。理解したいという気持ちや相手から学ぶ姿勢を持つことで、言語や歴史の壁を乗り越えて、共に平和な未来を創り出すパートナーになれることを私たちは実感をもって学びました。

(4) Critical Issues Forum (CIF)

参加生徒：高校1年生 2名

日程：3月26日～4月1日

訪問先：アメリカ（カリフォルニア州）

3月28・29日、カリフォルニア州モントレイにて、アメリカ、日本、インド、パキスタンの計19校の高校が参加し、「80年の闘い：異文化間の若者の交流を通じた核軍縮と不拡散の活性化」をテーマに、各校が15分間のプレゼンテーションを行いました。

本校の代表生徒2名は、被爆講話や資料館での取り組み、本校独自の活動をまとめた内容を発表しました。広島平和記念資料館には、広島女学院生による複数の展示があり、とりわけ当時の校章2種類が展示されていたことが印象的でした。調査を進める中で、自分たちもまた、後世に伝える歴史の一ページを刻んでいるのだという自覚を持つことができました。

他校のプレゼンテーションも、核実験の実態、核開発にかかる国家予算、被爆体験をもとにした芸術作品、被爆樹木を通して捉える原爆の影響など、それぞれが独自の視点から取り組まれており、大変刺激を受けました。

プレゼン後のパネルディスカッションでは、「若者を核不拡散の議論に巻き込むためにできることは？」「過去にさかのぼって変えたい核に関する条約は？」といった鋭い質問が投げかけられ、参加者は熱心に意見を交わしました。

カンファレンス終了後には、主催者の方々がピザやタコス、ホットドッグなどを用意してくださり、交流を深めるひとときとなりました。主催団体の皆様に心より感謝申し上げるとともに、平和な世界の実現に向けて力を合わせていく決意を新たにす、貴重な機会となりました。



(4) GI ハワイ研修

参加生徒：高校2年生（Global Issues 選択生） 6名

日程：3月29日～4月3日

訪問先：ホノルル（ハワイ州）

GI の集大成の一つともいえるハワイ研修ですが、本年度もパールハーバー国立記念公園と姉妹公園協定を結んでいる広島市のご協力のもと実施できました。

以下、GI 生の感想の一部を抜粋いたします。

実際にパールハーバーを訪れて抱いた最初の印象は、広島の平和公園と同様に、美しいということです。それはただ単に衛生上のきれいという意味ではなく、なにか神秘的なものを感じるということです。戦争で亡くなった人たちのいわゆる「お墓」という意味もあるだろうし、戦争を通して私たちに託せられた「これからの平和の未来への道」を示しているのかなとも思います。

また、パールハーバーの博物館の展示は、戦争を誰のせいとせず、平和に向かって同じ方向を見ているのだなと実感することができるもので、とても感動しました。

この他にも、日系人社会のことを学んだり、St. Andrew's School を訪問してのハワイの学校生活を体験するなどしましたが、これまでGIで鍛えてきた社会を見る目や英語によるコミュニケーションスキルを、さらに磨くことができた研修となりました。



(グローバル教育推進部)

高1オリエンテーション

4月24日から25日にかけて、シャトレゼガトーキングダムせとうちでオリエンテーション合宿を行いました。合宿の目的は「自分の将来について考える」です。高校生活のスタートにあたり、どのように学校生活を送るかHR活動を通して考えました。開会礼拝の後、進路指導部部長の國岡先生の講演で、高校生活や授業、日々の学習に必要な心構えについての話を聞きました。昼食後、各クラスに分かれ、春休みに書いた自分史や保護者の方からの手紙を読んで、自分自身を見つ



めることをテーマにHR活動を行いました。夜はHR委員主催のキャンプファイヤーを行い、ダンスやゲームで楽しい時を過ごしました。翌日は、各クラスで一人ずつ「自分を語る」原稿をもとに発表を行いました。一人ひとりが自分自身を語り、友人の話に真剣に耳を傾けることで将来をどのように築いていくか、高校生としてどう日々を過ごすかなどじっくりと考えることができました。これらを糧に充実した高校生活を送ってくれると信じています。様々なことを経験した2日間で、生徒と

共に過ごせることに大きな喜びを感じることができました。保護者の皆様には、手紙を書いていただくという大切な部分にご協力いただき心から感謝申し上げます。

(高1学年会)

中1オリエンテーション

4月24日(木)と25日(金)の2日間、中1はオリエンテーションを行いました。今年度より宿泊を伴わない形での実施です。

1日目はまず、比治山墓地にあるゲーンズ先生のお墓に行き、クラスごとに墓前礼拝を行いました。先生の愛唱讃美歌294番を歌い、お祈りをささげて女学院生になった報告をしました。その後、ひろしまスタジアムパークに移動し、晴天の下、アクティビティーや同級生インタビューを通して親睦を深めました。アクティビティー



では、クラス対抗でピンポン玉リレーや遠距離玉入れ、協力リレーなど体を動かしながら楽しみました。同級生インタビューでは、各自が用意してきた質問をもとに1対1でクラスメートにインタビューをします。このインタビューのために、各ご家庭で「自分の生い立ちを振り返る」時間を持っていただきました。これにより表層的なインタビューではなく、内容を掘り下げる質問をすることができたようです。また、そのようなやりとりは、相手だけでなく未知の自分自身を発見することにもつながります。これら一連の活動は、翌日の「自分を語る」と称する味わい深い自己紹介(自己開示)のプログラムへとつながっていく仕掛けになっています。



2日目は、他学年は授業でしたが、中1は校内でオリエンテーション2日目の活動をしました。午前中は、上記の「自分を語る」をクラスごとに行いました。午後は、昼のつどいやクイズ大会などをしました。昼のつどいでは、礼拝に加えて「君は愛されるために生まれた」というゴスペルをみんなで歌い、温かい時間を過ごしました。クイズ大会も大いに盛り上がり、楽しみました。移動が少ない分、盛りだくさんのプログラムで例年以上に充実した2日間となりました。また、HR委員はアクティビティーを、礼拝委員は礼拝の司会など、生徒が主体となって動く場面も多くあり、みんなで作り上げるとてもよいプログラムとなりました。

今回のオリエンテーションで得た仲間との絆をさらに広げ、さらに充実した学校生活になるよう願っています。

(中1学年会)

《中2》遠足

中2は「備北丘陵公園」に行きました。穏やかな天候に恵まれ絶好の行楽日和となりました。到着してすぐ生徒たちは、クラスごとに長縄を行い、長縄の後は各クラスのHR委員さんが中心になって決めたレクリエーション





を行いました。担任の先生とケイドロをして走り回っているクラスなど、充実した時間を過ごせたのではないかと思います。新しい学年が始まって1ヶ月、親睦を深める機会となり、それぞれにとって良いリフレッシュの時間となったようです。

(中2学年会)

《中3》遠足

中学3年生は広島空港すぐ側の広島県中央森林公園に行き、BBQをしました。気持ちのよいお天気のもと、着くとまず、自然の中を散策するなど思い思いに過ごしました。BBQはチャレンジキャンプとは異なり、炭への着火に苦勞するグループもありましたが、隣のグループから種火をもらうなどの工夫をこらし、全員おいしいお肉にありつけました。教員はほとんど手伝わず、生徒同士があれこれ知恵を出し合っている姿はさすが中3生という頼もしさでした。日々の喧騒から離れ、自然の中でゆったり過ごしていいリフレッシュとなりました。



(中3学年会)

《高2》遠足

春の爽やかなお天気に恵まれ、島根県立しまね海洋館アクアスに行ってきました。バスで2時間ほどの道のりですが、アニメ『君の名は』やジブリ映画を鑑賞しながらクラスの親睦を深め、到着後は綺麗な熱帯魚を見たり、イルカのショーを見たり、アスレチックで童心に帰って滑り台を滑ったり、と生徒たちは忙しくあちこちを動き回り、今年生まれたばかりの赤ちゃんシロイルカにも出会えました。

午後からは海に出て、潮風に吹かれながら日本海の波と戯れ、足元を濡らしながらも無邪気に楽しみ、心も体もリフレッシュできました。



(高2学年会)

《高3》遠足

4月24日(木)高3はクラスごとに遠足に出発しました。短い準備期間でしたが、HR委員さんの働きにより、それぞれのクラスで行き先が決まりました。行先は違えど、内容は全クラスBBQに決まり、息の合った学年であるなど感心させられました。楽しむ場面は思いっきり楽しみ、長丁場の受験勉強をみんなでがんばりぬきたいと思えます！





【A組】江田島の長浜ビーチで、晴天のもと自然を満喫しながら BBQ を楽しみました。

【B組】もみのき森林公園へ行き、BBQ の他、レクをして楽しみました。

【C組】尾道のこざかなくんスポーツパークびんごで BBQ を楽しみました。その後、尾道を散策しました。

【D組】白竜湖観光農園でイチゴを食べ、BBQ をしました。ずっと食べていました。

【E組】倉橋の桂浜ビーチに行きました。晴天の中、海岸で BBQ をしたり、海で遊んだり、楽しむことができました。



(高3 学年会)

PTA総会・学年集会・学級懇談会

2025 年度の PTA 総会が 5 月 17 日 (土) の参観日の後に行われました。この日の午後には中 1・高 3 は学年集会、他の学年は学級懇談会も行われました。

総会では、昨年度の事業・決算報告があり、続いて新年度の役員選出、事業・予算案が承認されました。貴重なご意見もいただき、改めて女学院のさまざまな活動は、PTA の方々に支えられていることを実感いたしました。

昨年度の役員の皆様におかれましては、お忙しい中献身的に活動いただき、ありがとうございました。今年度の役員を引き受けてくださった皆様、一年間どうぞよろしくお願いいたします。



(中学教頭)

生徒会春の公演

①中高吹奏楽部 第 38 回定期演奏会



4 月 13 日 (日) ゲーンホールにて第 38 回定期演奏会を開催いたしました。第 1 部は吹奏楽曲を中心に、5 曲演奏。第 2 部は毎年引退する高 3 が脚本、構成、演出、演技をすべて行う大人気「Join メドレー」。今年は「大変！音符が盗まれた！」から始まり、客席を練り歩きながら音符を探し、最後に「音符を全部取り戻した！音楽が帰ってきた！」とめでたしめでたしで幕を閉じました。開演前に「WANTED」と怪盗のポスターを客席に貼るという凝りっぷりでした。第 3 部では「魔女の宅急便コレクション」の中で 5 年間磨き上げた音色を高 3 が一人ずつ披露しました。

多くの方々のご協力のもと演奏会を開催することができました。保護者の方々におかれましては、ご多用の中、多数ご来場いただき、ありがとうございました。

今後もどうぞ吹奏楽部への応援を宜しくお願い致します。

(吹奏楽部顧問)

②高校ダンス部

4月15日(火)に開催されたダンス部春の公演では、17名のダンサーと5名の照明・音響スタッフが協力し、華やかなステージを創り上げました。K-POPやJ-POPを取り入れた多彩なナンバーに加え、生徒自身が振付や構成を考えた作品もあり、緊張感の中にも楽しさを感じながらステージに立つことができました。また、コーチの振付による2曲は、丁寧な指導をいただいたおかげで、ダイナミックに踊ることができました。多くの保護者の皆さまより温かいご声援をいただき、心より感謝いたします。

この公演をもって高校3年生13名は引退し、新たに高校1年生17名が入部しています。先輩たちの背中を見て育った後輩たちが、これからのダンス部をさらに盛り上げてくれることと思います。技術や表現力の向上はもちろん、人としての成長も大切にしながら活動を続けてまいります。

(高校ダンス部顧問)

③中学演劇部

4月19日(土)、加藤のりや作『鎖をひきちぎれ』を上演しました。この作品は、生前に人間にペットとして飼われていた犬・小鳥・カメレオンの3匹が、死後もなお自分たちの墓に鎖でつながれているという設定から始まります。そこに自由気ままな野良犬が現れ、彼との出会いを通じて3匹は、自由や飼い主とのつながりを問い直していきます。

今回は部員の人数が少ない中での挑戦でした。キャスト3人は約50分間、ほぼ出ずっぱりの演技をこなし、もう1人のキャストは裏方も兼任しました。照明・音響もそれぞれ1人で担当し、大道具(墓)や小道具の準備は春休みを利用して全員で協力して行いました。

本番では小さなミスもいくつかありましたが、それぞれが自分に任された役割をしっかりと果たし、最後までやりきることができました。観客の皆様からいただいた温かい拍手やアンケートでの感想は、部員たちにとって何よりの励みとなりました。

厳しくも温かいコーチの指導のもと、部員一人ひとりが大きく成長できた公演だったと思います。次回の文化祭公演では、新入部員も加わり、よりパワーアップした姿をお見せできるよう、部員・教員一同精一杯頑張っております。これからも応援よろしくをお願いいたします。

(中学演劇部顧問)

④高校演劇部

4月19日(土)に柳美里原作、成井豊・真柴あずき作「雨と夢のあとに」を上演しました。幻想的な場面をいかに演出するか、など細部にこだわって作劇をしました。今回初めてキャストを経験する部員も多かったので互いに助言をしあいながらやっていくことができました。公演を応援してくださった方々、ご来場くださった方々皆様に感謝申し上げます。

(高校演劇部顧問)

⑤中高マンドリン部 第45回定期演奏会

4月20日（日）にマンドリン部では第45回定期演奏会を開催しました。

第1部は、昨年11月に開催された県大会で演奏した「シエナ組曲」をメインに他2曲を全員で演奏しました。第2部は高3生5名によるアンサンブルでした。第2部はどの曲も指揮なしで演奏するには難しい曲でしたが、5人で互いに顔を見合わせながら息を合わせて



演奏しており、とても素敵で表情で演奏していました。5年間共に音楽を作ってきた5人での演奏からは、第1部とはまた違ったマンドリン演奏の魅力を感じていただけたと思います。第3部では、「海の組曲」をメインに他2曲を第1部と同様、部員全員で演奏しました。今回の演奏会では、これまでの練習の成果を十分に発揮し、堂々と演奏する部員の姿を皆様にお見せすることができたのではないかと思います。

この演奏会にご来場くださった皆様、支えてくださった皆様に、心から感謝申し上げます。次は7月の全国高等学校ギター・マンドリン音楽コンクールに向けて精一杯頑張りますので、今後ともご支援のほどよろしくお願いいたします。

（マンドリン部顧問）

⑥高校オーケストラ同好会

4月26日（土）、ゲンスホールで春の公演を行いました。オープニングとして、いつも礼拝で歌う讃美歌のなかから291番を演奏しました。クラシックとして、モーツァルト作曲の「ロンド」（弦楽四重奏曲第1番）、ビゼー作曲の「ファランドール」（「アルルの女」より）を演奏しました。現代の曲ですが、モーツァルトの作品を思わせるStudent Quartet（久石譲作曲）にもチャレンジしました。またアンサンブルとして、ヴァイオリン合奏として“Beauty and the Beast”、ヴィオラ合奏「さよーならまたいつか!」、チェロ合奏「パッサカリア 二短調」を演奏しました。ポップスの合奏として、今回は「前前前世」「ドラゴンクエスト序曲」を演奏しました。

2年間ともに活動してきた高3生15人、高2生19人、総勢34人で演奏するのは今回が最後でした。5月からは高1生5人を迎え、25年度の活動を始めています。ほとんどの生徒が高校入学後初めて弦楽器を手にするため、肩こりや筋肉痛に悩まされながらも放課後毎日地道に基礎練習に励んでいます。次はサマーミニコンサート、文化祭、メサイアと続きます。これからも部員一同、精進してまいります。

（オーケストラ同好会顧問）

⑦高校音楽部

春の文化部公演シリーズの最終日4月27日（日）に、第41回高校音楽部演奏会を行いました。今回の演奏会は、中学合唱部にも出演してもらい新たな機会を作ることができました。生徒たちは3つの構成で、わらべうた、自分たちで振り付けなどアイ

デアを出し合った J-POP、宗教曲と多彩なステージを繰り広げながら、ホールいっぱいに歌声を響かせました。最後は、クラブで歌い継がれている「宝島」と「主イエスは、わが羊飼い」を OG の皆さんと星野晴夫先生の指揮で演奏し幕を閉じました。変わらないものと新しく作るものを大切にしながら、今年も音楽部の歴史に新たなページを加えられたことを嬉しく思っています。演奏会を行うにあたりアナウンスや照明、受付など生徒たちの協力を得て、演奏会を行うことができたこと、多くの方々にご来場いただいたことに心から感謝します。



(高校音楽部顧問)

保健室だより (1)

気温や湿度が一気に上がる時期です。教室の冷房も稼働し始め、6月から制服も夏服へと変わります。外の暑さと教室の涼しさで体が疲れやすくなるので、今のうちに運動や入浴などで汗をかいて、体を暑さに慣れさせてください(暑熱順化)。また、子どもたちの水分摂取量は、思った以上に少ないです。学校にいる間、午前500ml、午後500ml摂取を促しています。ウォータークーラーから水を注げるように、必ず水筒を持たせてください。

4月から各種健康診断が続いています。内科検診では、めまいや立ちくらみ、頻脈、低血圧の生徒が多いとの指摘がありました。体の成長に自律神経の成長が追いつかず、自律神経のバランスが乱れることが原因の一つです。運動不足改善のために散歩や縄跳びなどの軽めの運動を普段から行う、夜更かしをしない、寝る時はスマホを手放すなど、ご家庭で一緒に取り組んでみてください。

「6(む)4(し)」にちなんで、6月4日から10日までは「歯と口の健康週間」です。「口」は、食べる・話す・笑うといった毎日の生活に欠かせない大切な役割を担っています。正しい歯みがきや、バランスの取れた食生活など、生活習慣のちょっとした変化は口の中にすぐに表れます。子どものうちからのケアが将来の健康を大きく左右しますので、この機会に歯と口の健康についてお話してみてください。



6月5日に歯科・眼科・耳鼻科検診を行います。体のこと、心のこと、気になることがありましたら、いつでも保健室までご連絡ください。

(保健室)

心の健康 (1)

「あ～、疲れた…」という言葉をよく聞くこの頃です。中1生から高3生、保護者も先生も新学期という新しい環境に神経を使いながら生活してきて、2か月が経ちます。「ストレス」の多い日々でした。6月は中間テストも終わり、環境に慣れてきて緊張が解け始めます。こういう時に心と身体の疲れが入り交じって、いろんな症状として出てきやすいのです。

生きてると「ストレス」は付き物です。ただ、ほどよいストレスは生活の励みになります。強すぎるストレスは困ったことに心身の症状となりやすいのです。例えば、イライラしたり、感情的に怒りっぽくなったり、ブルーな気分になったり、忘れることが多くなったりしがちです。夜、眠れないとか、頭痛・胃痛・肩こりなど、何でもありの体調不良になったりします。



まず、頭と身体の両方を使うように心がけてみましょう。緊張の後にはリラックスを、努力の後には休息を上手に取り入れて、6月の梅雨の時期は、お部屋にちょっとお花を飾る心のゆとりもほしいですね。

(カウンセラー)

保護者対象部活説明会

今年度も中学校の以下部活動において保護者を対象とした説明会を開催します。ぜひご出席ください。別途連絡がある場合は、後日各部顧問から生徒を通じてお知らせいたします。

部活動	日時	場所
マンドリン	5月31日(土) 11:00～	高校校舎2階セミナー3
YWCA	6月19日(木) 16:00～	中学校舎3階講義室
卓球	6月19日(木) 16:00～	中学校舎2階第1AV教室
演劇	6月19日(木) 16:20～	中学校舎2階1年2組教室
ソフトボール	6月21日(土) 13:30～	高校校舎2階セミナー3
吹奏楽	6月21日(土) 14:00～	高校校舎2階201教室
剣道	6月28日(土) 13:00～	剣道場(体育館1階)
合唱	6月28日(土) 13:30～	高校校舎2階セミナー3
バレーボール	6月中の予定 別途ご連絡いたします。	
バスケットボール	6月中の予定 別途ご連絡いたします。	
ソフトテニス	6月中の予定 別途ご連絡いたします。	
新体操	7月後半 演技発表会と合わせて行います	体育館2階

(中学生徒会顧問)

教職員の動向

○数学科の村尾優太先生が3月15日に結婚されました。おめでとうございます。ご家庭の上に神様の豊かな祝福がありますようにお祈りいたします。

○3月23日に国語科の白濱翔太先生に娘が誕生されました。おめでとうございます。ご成長の上に神様の豊かな祝福をお祈りします。

生徒の活躍

◇2-1 T. M

2024年度ライオンズ国際平和ポスター・コンテスト
336-C地区（広島県） 最優秀賞
（受賞時は中学1年生）



今月の聖句

「その日、すなわち週の初めの日の夕方、弟子たちはユダヤ人を恐れて、自分たちのいる家の戸に鍵をかけていた。そこへ、イエスが来て真ん中に立ち、「あなたがたに平和があるように」と言われた。そう言って、手とわき腹とをお見せになった。弟子たちは、主を見て喜んだ。」

ヨハネによる福音書 20章 19～20節

イエスが復活のとき、弟子たちに語られた「平和があるように」という言葉は、ユダヤの人々にとっては聞きなれた「シャローム」という挨拶です。「シャローム」とは「平和」という意味のヘブライ語で、「こんにちは」「さようなら」といった日頃の挨拶のように使われていました。

師であるイエスが処刑され、それどころか自分たちもイエスの同類と見做され、いつ逮捕されるか分からないような緊迫した状況の中で、彼らは自身らを取り巻く状況も心の中も、とても「平和」で「安寧」な穏やかさとは言えなかったはずで、しかしイエスはそんな彼らの「真ん中に立」って、「平和」「安寧」の言葉を投げかけてくださったのです。

今を生きる私たちも与えられた日々の中で、安寧からかけ離れたこの世の有様を思い巡らし、思わずため息をついてしまうときがあります。でも、そんな今日だからこそ、「あなたがたに平和があるように」「私たちに安寧が与えられることを信じよう」と、まさに挨拶のように力強く言葉にして、新年度の日々を歩みたいと思います。

(聖書科 I. M)